

平成 29 年 5 月 1 日

県政記者クラブ 各位

岩手県保健福祉部医療政策室

## 感染性胃腸炎の集団発生について

次のとおり、ノロウイルス及びロタウイルスによる「感染性胃腸炎」の集団発生がありましたので、県民への注意喚起のためお知らせします。

### 1 奥州市内の保育所

#### (1) 施設の概要

園児 87 名、職員数 22 名

#### (2) 有症者の状況等

ア 4 月 24 日 (月)、当該施設から奥州保健所へ、5 名の園児が嘔吐・下痢等の症状を呈している旨の連絡あり。

イ 4 月 25 日 (火)、奥州保健所が調査を開始し、4 月 20 日 (木) から 4 月 27 日 (木) にかけて、園児 11 名、職員 1 名に嘔吐・下痢等の発症があったことを確認。

ウ 有症者のうち 3 名 (全員園児) が入院となったが、いずれも回復傾向にあり、重症者はなし。

#### 【有症者の性別・年齢別構成】

(単位：人)

区分	園児						職員	計
	0 歳児	1 歳児	2 歳児	3 歳児	4 歳児	5 歳児	50 歳代	
男	1	3	0	0	1	0	0	5
女	2	3	0	0	1	0	1	7
計	3	6	0	0	2	0	1	12

#### (3) 原因究明の調査等

ア 医療機関で実施した検査の結果、有症者 8 名からロタウイルスを検出。

イ 奥州保健所が実施した疫学調査から、施設の食事を原因とする食中毒の可能性は否定。

ウ 奥州保健所は、当該施設に対し手洗い消毒等の二次感染対策について指導。

### 2 釜石市内の保育所

#### (1) 施設の概要

園児 71 名、職員数 23 名

#### (2) 有症者の状況等

ア 4 月 28 日 (金)、当該施設から釜石保健所へ、11 名の園児が嘔吐・下痢の症状を呈している旨の連絡あり。

イ 同日から釜石保健所が調査を開始し、4 月 26 日 (水) から 5 月 1 日 (月) にかけて、園児 15 名、職員 1 名に嘔吐・下痢等の発症があったことを確認。

ウ 有症者は回復傾向にあり、重症者はなし。

【有症者の性別・年齢別構成】

(単位：人)

区分	園児						職員	計
	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	40歳代	
男	0	0	0	1	4	3	0	8
女	0	1	1	1	2	2	1	8
計	0	1	1	2	6	5	1	16

(3) 原因究明の調査等

ア 県環境保健研究センターで実施した検査の結果、有症者3名からノロウイルスを検出。

イ 釜石保健所が実施した疫学調査から施設の食事を原因とする食中毒の可能性は否定。

ウ 釜石保健所は、当該施設に対し手洗い消毒等の二次感染対策について指導。

3 感染性胃腸炎の集団発生の状況

(盛岡市分を含む、( )内は年度累計、単位：件)

区分	ノロウイルス	ロタウイルス	その他 (サポウイルス等)	合計
平成29年4月1日～ 平成29年5月1日	2	2	1	5
平成28年4月1日～ 平成28年5月1日	6 (69)	4 (5)	1 (10)	11 (84)
平成27年4月1日～ 平成27年5月1日	4 (46)	0 (0)	1 (10)	5 (56)

4 ウイルス性胃腸炎の予防方法

- |   |
|---|
| <p>① 用便後、調理前、食事前には、石けんで十分な手洗いを行う。</p> <p>② 食事を調理する場合、加熱が必要な食品は85℃以上・1分間以上で十分に加熱する。</p> <p>③ 嘔吐した場合は、部屋の換気を十分に行ないながら、なるべくマスクやビニール手袋等を用いて片付け、嘔吐した場所や使用した用具を塩素系漂白剤で消毒する。</p> <p>④ 嘔吐、下痢等の症状がある場合には、早めに医療機関を受診する。</p> |
|---|

【担当 感染症担当 小野・東 内5472】

平成 29 年 5 月 22 日

県政記者クラブ 各位

岩手県保健福祉部医療政策室

## 感染性胃腸炎の集団発生について

次のとおり、ノロウイルス、アストロウイルス及びロタウイルスによる「感染性胃腸炎」の集団発生がありましたので、県民への注意喚起のためお知らせします。

### 1 雫石町内の保育所

#### (1) 施設の概要

園児 55 名、職員数 12 名

#### (2) 有症者の状況等

ア 5月17日(水)、当該施設から県央保健所へ、複数名の園児が嘔吐・下痢等の症状を呈している旨の連絡あり。

イ 同日から、県央保健所が調査を開始し、5月11日(木)から5月19日(金)にかけて、園児 13 名、職員 1 名に嘔吐・下痢等の発症があったことを確認。

ウ 有症者は回復傾向にあり、重症者はなし。

#### 【有症者の性別・年齢別構成】

(単位：人)

区分	園児 (クラス別)						職員	計
	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	30歳代	
男	4	1	0	0	0	1	0	6
女	1	4	2	0	0	0	1	8
計	5	5	2	0	0	1	1	14

#### (3) 原因究明の調査等

ア 県環境保健研究センターで実施した検査の結果、有症者 1 名からノロウイルス、2 名からアストロウイルスを検出。

イ 県央保健所が実施した疫学調査から、施設の食事を原因とする食中毒の可能性は否定。

ウ 県央保健所は、当該施設に対し手洗い消毒等の二次感染対策について指導。

### 2 山田町内の小学校

#### (1) 施設の概要

児童 154 名、職員数 21 名

#### (2) 有症者の状況等

ア 5月17日(水)、山田町教育委員会より宮古保健所へ、当該施設にて複数名の児童及び職員が嘔吐・下痢の症状を呈している旨の連絡あり。

イ 同日から宮古保健所が調査を開始し、5月11日(月)から5月19日(金)にかけて、児童 19 名、職員 1 名に嘔吐・下痢等の発症があったことを確認。

ウ 有症者は回復傾向にあり、重症者はなし。

【有症者の性別・年齢別構成】

(単位：人)

区分	児童						職員	計
	1年	2年	3年	4年	5年	6年	30歳代	
男	1	0	4	8	0	1	1	15
女	0	0	2	2	0	1	0	5
計	1	0	6	10	0	2	1	20

(3) 原因究明の調査等

ア 県環境保健研究センターで実施した検査の結果、有症者3名からロタウイルスを検出。

イ 宮古保健所が実施した疫学調査から施設の食事を原因とする食中毒の可能性は否定。

ウ 宮古保健所は、当該施設に対し手洗い消毒等の二次感染対策について指導。

3 感染性胃腸炎の集団発生の状況

(盛岡市分を含む、( )内は年度累計、単位：件)

区分	ノロウイルス	ロタウイルス	その他 (サポウイルス等)	合計
平成29年4月1日～ 平成29年5月22日	2	3	3	8
平成28年4月1日～ 平成28年5月22日	8 (69)	4 (5)	1 (10)	13 (84)
平成27年4月1日～ 平成27年5月22日	7 (46)	0 (0)	2 (10)	9 (56)

4 ウイルス性胃腸炎の予防方法

- |   |
|---|
| <ol style="list-style-type: none"><li>① 用便後、調理前、食事前には、石けんで十分な手洗いを行う。</li><li>② 食事を調理する場合、加熱が必要な食品は85℃以上・1分間以上で十分に加熱する。</li><li>③ 嘔吐した場合は、部屋の換気を十分に行ないながら、なるべくマスクやビニール手袋等を用いて片付け、嘔吐した場所や使用した用具を塩素系漂白剤で消毒する。</li><li>④ 嘔吐、下痢等の症状がある場合には、早めに医療機関を受診する。</li></ol> |
|---|

【担当 感染症担当 小野・東 内5472】

## 感染性胃腸炎の集団発生について

次のとおり、ノロウイルスによる「感染性胃腸炎」の集団発生がありましたので、県民への注意喚起のためお知らせします。

### 1 雫石町内の保育所

#### (1) 施設の概要

園児 71 名、職員数 19 名

#### (2) 有症者の状況等

ア 5 月 31 日 (水)、当該施設から県央保健所へ、複数名の園児及び職員が嘔吐・下痢等の症状を呈している旨の連絡あり。

イ 同日から、県央保健所が調査を開始し、5 月 29 日 (月) から 6 月 1 日 (木) にかけて、園児 16 名、職員 2 名に嘔吐・下痢等の発症があったことを確認。

ウ 有症者は回復傾向にあり、重症者はなし。

【有症者の性別・年齢別構成】

(単位：人)

区分	園児 (クラス別)						職員 40 歳代	計
	0 歳児	1 歳児	2 歳児	3 歳児	4 歳児	5 歳児		
男	1	0	3	2	0	0	0	6
女	2	0	3	1	3	1	2	12
計	3	0	6	3	3	1	2	18

#### (3) 原因究明の調査等

ア 県環境保健研究センターで実施した検査の結果、有症者 4 名からノロウイルスを検出。

イ 県央保健所が実施した疫学調査から、施設の食事を原因とする食中毒の可能性は否定。

ウ 県央保健所は、当該施設に対し手洗い消毒等の二次感染対策について指導。

### 2 感染性胃腸炎の集団発生の状況 (盛岡市分を含む、( )内は年度累計、単位：件)

区 分	ノロ ウイルス	ロタ ウイルス	その他 (サポウイルス等)	合計
平成 29 年 4 月 1 日～ 平成 29 年 6 月 2 日	4	5	5	14
平成 28 年 4 月 1 日～ 平成 28 年 6 月 2 日	12 (69)	4 (5)	1 (10)	17 (84)
平成 27 年 4 月 1 日～ 平成 27 年 6 月 2 日	8 (46)	0 (0)	3 (10)	11 (56)

### 3 ウイルス性胃腸炎の予防方法

- ① 用便後、調理前、食事前には、石けんで十分な手洗いを行う。
- ② 食事を調理する場合、加熱が必要な食品は 85℃以上・1 分間以上で十分に加熱する。
- ③ 嘔吐した場合は、部屋の換気を十分に行ないながら、なるべくマスクやビニール手袋等を用いて片付け、嘔吐した場所や使用した用具を塩素系漂白剤で消毒する。
- ④ 嘔吐、下痢等の症状がある場合には、早めに医療機関を受診する。

## 感染性胃腸炎の集団発生について

次のとおり、ノロウイルスによる「感染性胃腸炎」の集団発生がありましたので、県民への注意喚起のためお知らせします。

### 1 一関市内の認定こども園

#### (1) 施設の概要

園児 93 名、職員数 27 名

#### (2) 有症者の状況等

ア 6月6日(火)、当該施設から一関保健所へ、数名の園児が嘔吐・下痢等の症状を呈している旨の連絡あり。

イ 同日から、一関保健所が調査を開始し、6月1日(木)から6月8日(木)にかけて、園児 16 名に嘔吐・下痢等の発症があったことを確認。

ウ 入院者 1 名は入院継続中。その他の有症者は回復傾向にあり、重症者はなし。

【有症者の性別・年齢別構成】

(単位：人)

区分	園児 (クラス別)						計
	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	
男	1 (1)	2	3	1	0	1	8
女	0	3	4	0	1	0	8
計	1	5	7	1	1	1	16

※ ( ) 内は入院者再掲

#### (3) 原因究明の調査等

ア 県環境保健研究センター及び医療機関で実施した検査の結果、有症者 4 名からノロウイルスを検出。

イ 一関保健所が実施した疫学調査から、施設の食事を原因とする食中毒の可能性は否定。

ウ 一関保健所は、当該施設に対し手洗い消毒等の二次感染対策について指導。

### 2 感染性胃腸炎の集団発生の状況

(盛岡市分を含む、( )内は年度累計、単位：件)

区 分	ノロ ウイルス	ロタ ウイルス	その他 (サポウイルス等)	合計
平成 29 年 4 月 1 日～ 平成 29 年 6 月 8 日	6	5	5	16
平成 28 年 4 月 1 日～ 平成 28 年 6 月 8 日	12 (69)	4 (5)	1 (10)	17 (84)
平成 27 年 4 月 1 日～ 平成 27 年 6 月 8 日	8 (46)	0 (0)	3 (10)	11 (56)

### 3 ウイルス性胃腸炎の予防方法

- ① 用便後、調理前、食事前には、石けんで十分な手洗いを行う。
- ② 食事を調理する場合、加熱が必要な食品は 85℃以上・1 分間以上で十分に加熱する。
- ③ 嘔吐した場合は、部屋の換気を十分に行ないながら、なるべくマスクやビニール手袋等を用いて片付け、嘔吐した場所や使用した用具を塩素系漂白剤で消毒する。
- ④ 嘔吐、下痢等の症状がある場合には、早めに医療機関を受診する。

## 感染性胃腸炎の集団発生について

次のとおり、ノロウイルスによる「感染性胃腸炎」の集団発生がありましたので、県民への注意喚起のためお知らせします。

### 1 奥州市内の保育所

#### (1) 施設の概要

園児 91 名、職員数 23 名

#### (2) 有症者の状況等

ア 6月6日(火)、当該施設から奥州保健所へ、1名の園児が嘔吐の症状を呈し、医療機関でノロウイルスの診断を受けた旨の連絡あり。

イ 6月7日(水)から、奥州保健所が調査を開始し、6月1日(木)から6月9日(金)にかけて、園児16名、職員1名に嘔吐・下痢等の発症があったことを確認。

ウ 有症者は回復傾向にあり、重症者はなし。入院者2名はすでに退院している。

【有症者の性別・年齢別構成】

(単位：人)

区分	園児 (クラス別)						職員 20歳代	計
	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児		
男	1 (1)	2	3	2	2 (1)	2	0	12 (2)
女	0	2	1	0	1	0	1	5
計	1 (1)	4	4	2	3 (1)	2	1	17 (2)

※ ( ) 内は入院者再掲

#### (3) 原因究明の調査等

ア 県環境保健研究センターで実施した検査の結果、有症者4名からノロウイルスを検出。

イ 奥州保健所が実施した疫学調査から、施設の食事を原因とする食中毒の可能性は否定。

ウ 奥州保健所は、当該施設に対し手洗い消毒等の二次感染対策について指導。

### 2 感染性胃腸炎の集団発生の状況

(盛岡市分を含む、( )内は年度累計、単位：件)

区 分	ノロ ウイルス	ロタ ウイルス	その他 (サポウイルス等)	合計
平成 29 年 4 月 1 日～ 平成 29 年 6 月 14 日	8	5	5	18
平成 28 年 4 月 1 日～ 平成 28 年 6 月 14 日	13 (69)	4 (5)	1 (10)	18 (84)
平成 27 年 4 月 1 日～ 平成 27 年 6 月 14 日	8 (46)	0 (0)	3 (10)	11 (56)

### 3 ウイルス性胃腸炎の予防方法

- ① 用便後、調理前、食事前には、石けんで十分な手洗いを行う。
- ② 食事を調理する場合、加熱が必要な食品は 85℃以上・1分間以上で十分に加熱する。
- ③ 嘔吐した場合は、部屋の換気を十分に行ないながら、なるべくマスクやビニール手袋等を用いて片付け、嘔吐した場所や使用した用具を塩素系漂白剤で消毒する。
- ④ 嘔吐、下痢等の症状がある場合には、早めに医療機関を受診する。

## 感染性胃腸炎の集団発生について

次のとおり、ノロウイルスによる「感染性胃腸炎」の集団発生がありましたので、県民への注意喚起のためお知らせします。

### 1 奥州市内の保育所

#### (1) 施設の概要

園児 135 名、職員数 36 名

#### (2) 有症者の状況等

ア 6月9日(金)、当該施設から奥州保健所へ、3名の園児が嘔吐・下痢の症状を呈し、医療機関でノロウイルスの診断を受けた旨の連絡あり。

イ 同日から、奥州保健所が調査を開始し、6月1日(木)から6月9日(金)にかけて、園児13名、職員1名に嘔吐・下痢等の発症があったことを確認。

ウ 入院者3名のうち、1名はすで退院している。現在も入院中の2名を含め有症者は回復傾向にあり、重症者はなし。

【有症者の性別・年齢別構成】

(単位：人)

区分	園児 (クラス別)						職員 50歳代	計
	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児		
男	3	3	1	0	0	1	0	8
女	3 (3)	0	0	2	0	0	1	6 (3)
計	6 (3)	3	1	2	0	1	1	14 (3)

※ ( ) 内は入院者再掲

#### (3) 原因究明の調査等

ア 県環境保健研究センターで実施した検査の結果、有症者3名からノロウイルスを検出。

イ 奥州保健所が実施した疫学調査から、施設の食事を原因とする食中毒の可能性は否定。

ウ 奥州保健所は、当該施設に対し手洗い消毒等の二次感染対策について指導。

### 2 感染性胃腸炎の集団発生の状況 (盛岡市分を含む、( )内は年度累計、単位：件)

区 分	ノロ ウイルス	ロタ ウイルス	その他 (サポウイルス等)	合計
平成 29 年 4 月 1 日～ 平成 29 年 6 月 15 日	10	5	5	20
平成 28 年 4 月 1 日～ 平成 28 年 6 月 15 日	14 (69)	4 (5)	1 (10)	19 (84)
平成 27 年 4 月 1 日～ 平成 27 年 6 月 15 日	9 (46)	0 (0)	3 (10)	12 (56)

### 3 ウイルス性胃腸炎の予防方法

- ① 用便後、調理前、食事前には、石けんで十分な手洗いを行う。
- ② 食事を調理する場合、加熱が必要な食品は85℃以上・1分間以上で十分に加熱する。
- ③ 嘔吐した場合は、部屋の換気を十分に行ないながら、なるべくマスクやビニール手袋等を用いて片付け、嘔吐した場所や使用した用具を塩素系漂白剤で消毒する。
- ④ 嘔吐、下痢等の症状がある場合には、早めに医療機関を受診する。

【担当 感染症担当 小野・東 内5472】



## 感染性胃腸炎の集団発生について

次のとおり、ノロウイルス及びロタウイルスによる「感染性胃腸炎」の集団発生がありましたので、県民への注意喚起のためお知らせします。

### 1 宮古市内の保育所

#### (1) 施設の概要

園児 49 名、職員数 10 名

#### (2) 有症者の状況等

ア 6 月 22 日（木）、宮古市福祉課から宮古保健所へ、4 名の園児が嘔吐・下痢の症状を呈している旨の連絡あり。

イ 同日から、宮古保健所が調査を開始し、6 月 13 日（火）から 6 月 25 日（日）にかけて、園児 11 名、職員 2 名に嘔吐・下痢等の発症があったことを確認。

ウ 有症者は回復傾向にあり、重症者はなし。

【有症者の性別・年齢別構成】

(単位：人)

区分	園児（クラス別）						職員		計
	0 歳児	1 歳児	2 歳児	3 歳児	4 歳児	5 歳児	30 歳代	50 歳代	
男	1	2	2	2	0	0	1	0	8
女	1	2	0	1	0	0	0	1	5
計	2	4	2	3	0	0	1	1	13

#### (3) 原因究明の調査等

ア 医療機関で実施した検査の結果、有症者 4 名からノロウイルス、有症者 1 名からノロウイルス及びロタウイルスを検出。

イ 宮古保健所が実施した疫学調査から、施設の食事を原因とする食中毒の可能性は否定。

ウ 宮古保健所は、当該施設に対し手洗い消毒等の二次感染対策について指導。

### 2 感染性胃腸炎の集団発生の状況 (盛岡市分を含む、( )内は年度累計、単位：件)

区 分	ノロ ウイルス	ロタ ウイルス	その他 (サポウイルス等)	合計
平成 29 年 4 月 1 日～ 平成 29 年 6 月 27 日	12	5	7	24
平成 28 年 4 月 1 日～ 平成 28 年 6 月 27 日	16 (69)	4 (5)	2 (10)	22 (84)
平成 27 年 4 月 1 日～ 平成 27 年 6 月 27 日	10 (46)	0 (0)	3 (10)	13 (56)

### 3 ウイルス性胃腸炎の予防方法

- ① 用便後、調理前、食事前には、石けんで十分な手洗いを行う。
- ② 食事を調理する場合、加熱が必要な食品は 85℃以上・1 分以上で十分に加熱する。
- ③ 嘔吐した場合は、部屋の換気を十分に行ないながら、なるべくマスクやビニール手袋等を用いて片付け、嘔吐した場所や使用した用具を塩素系漂白剤で消毒する。
- ④ 嘔吐、下痢等の症状がある場合には、早めに医療機関を受診する。

【担当 感染症担当 小野・東 内 5472】

## 感染性胃腸炎の集団発生について

次のとおり、ノロウイルスによる「感染性胃腸炎」の集団発生がありましたので、県民への注意喚起のためお知らせします。

### 1 矢巾町内の障害者支援施設

#### (1) 施設の概要

入所者 40 名、通所者 44 名、職員数 43 名

#### (2) 有症者の状況等

ア 6 月 26 日 (月)、当該施設から県央保健所へ、複数名の利用者が嘔吐・下痢の症状を呈している旨の連絡あり。

イ 同日から、県央保健所が調査を開始し、6 月 16 日 (金) から 6 月 26 日 (月) にかけて、入所者 11 名、職員 2 名に嘔吐・下痢等の発症があったことを確認。

ウ 有症者は回復傾向にあり、重症者はなし。

【有症者の性別・年齢別構成】

(単位：人)

区分	入所者						職員	計
	20 歳代	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60 歳代	70 歳代	20 歳代	
男	1	1	0	0	1	0	0	3
女	0	1	3	1	1	2	2	10
計	1	2	3	1	2	2	2	13

#### (3) 原因究明の調査等

ア 県環境保健研究センターで実施した検査の結果、有症者 2 名からノロウイルスを検出。

イ 県央保健所が実施した疫学調査から、施設の食事を原因とする食中毒の可能性は否定。

ウ 県央保健所は、当該施設に対し手洗い消毒等の二次感染対策について指導。

### 2 感染性胃腸炎の集団発生の状況

(盛岡市分を含む、( )内は年度累計、単位：件)

区 分	ノロ ウイルス	ロタ ウイルス	その他 (サポウイルス等)	合計
平成 29 年 4 月 1 日～ 平成 29 年 6 月 28 日	13	5	7	25
平成 28 年 4 月 1 日～ 平成 28 年 6 月 28 日	16 (69)	4 (5)	3 (10)	23 (84)
平成 27 年 4 月 1 日～ 平成 27 年 6 月 28 日	10 (46)	0 (0)	3 (10)	13 (56)

### 3 ウイルス性胃腸炎の予防方法

- ① 用便後、調理前、食事前には、石けんで十分な手洗いを行う。
- ② 食事を調理する場合、加熱が必要な食品は 85℃以上・1 分間以上で十分に加熱する。
- ③ 嘔吐した場合は、部屋の換気を十分に行ないながら、なるべくマスクやビニール手袋等を用いて片付け、嘔吐した場所や使用した用具を塩素系漂白剤で消毒する。
- ④ 嘔吐、下痢等の症状がある場合には、早めに医療機関を受診する。

【担当 感染症担当 小野・東 内 5472】

## 感染性胃腸炎の集団発生について

次のとおり、ノロウイルスによる「感染性胃腸炎」の集団発生がありましたので、県民への注意喚起のためお知らせします。

### 1 滝沢市内の保育所

#### (1) 施設の概要

園児 114 名、職員 41 名

#### (2) 有症者の状況等

ア 6 月 29 日（木）、当該施設関係者から県央保健所へ、複数の園児が嘔吐・下痢の症状を呈している旨の連絡あり。

イ 同日から、県央保健所が調査を開始し、6 月 18 日（日）から 6 月 29 日（木）にかけて、園児 21 名に嘔吐・下痢等の発症があったことを確認。

ウ 入院者 2 名のうち 1 名はすでに退院し、1 名は入院継続中だが回復傾向にある。

【有症者の性別・年齢別構成】

(単位：人)

区分	園児						計
	0 歳児	1 歳児	2 歳児	3 歳児	4 歳児	5 歳児	
男	4	3	0	0	1	4	12
女	2	5	0	1	1	0	9
計	6 (2)	8	0	1	2	4	21

※ ( ) 内は入院者再掲

#### (3) 原因究明の調査等

ア 県環境保健研究センターで実施した検査の結果、有症者等 6 名からノロウイルスを検出。

イ 県央保健所が実施した疫学調査から、施設の食事を原因とする食中毒の可能性は否定。

ウ 県央保健所は、当該施設に対し手洗い消毒等の二次感染対策について指導。

### 2 感染性胃腸炎の集団発生の状況

(盛岡市分を含む、( )内は年度累計、単位：件)

区 分	ノロ ウイルス	ロタ ウイルス	その他 (サポウイルス等)	合計
平成 29 年 4 月 1 日～ 平成 29 年 7 月 3 日	14	5	7	26
平成 28 年 4 月 1 日～ 平成 28 年 7 月 3 日	16 (69)	4 (5)	3 (10)	23 (84)
平成 27 年 4 月 1 日～ 平成 27 年 7 月 3 日	10 (46)	0 (0)	3 (10)	13 (56)

### 3 ウイルス性胃腸炎の予防方法

- ① 用便後、調理前、食事前には、石けんで十分な手洗いを行う。
- ② 食事を調理する場合、加熱が必要な食品は 85℃以上・1 分以上で十分に加熱する。
- ③ 嘔吐した場合は、部屋の換気を十分に行ないながら、なるべくマスクやビニール手袋等を用いて片付け、嘔吐した場所や使用した用具を塩素系漂白剤で消毒する。
- ④ 嘔吐、下痢等の症状がある場合には、早めに医療機関を受診する。

【担当 感染症担当 小野・東 内 5472】

## 感染性胃腸炎の集団発生について

次のとおり、「感染性胃腸炎」の集団発生がありましたので、県民への注意喚起のためお知らせします。

### 1 一関市内の保育所

#### (1) 施設の概要

園児 42 名、職員 16 名

#### (2) 有症者の状況等

ア 7 月 6 日（木）、当該施設から一関保健所へ、数名の園児が嘔吐・下痢の症状を呈している旨の連絡あり。

イ 同日から、一関保健所が調査を開始し、7 月 1 日（土）から 7 月 12 日（水）にかけて、園児 15 名に嘔吐・下痢等の発症があったことを確認。

ウ 有症者は回復傾向にあり、重症者はなし。

【有症者の性別・年齢別構成】

(単位：人)

区分	園児						計
	0 歳児	1 歳児	2 歳児	3 歳児	4 歳児	5 歳児	
男	2	2	2	1	0	0	7
女	0	1	2	3	0	2	8
計	2	3	4	4	0	2	15

※（ ）内は入院者再掲

#### (3) 原因究明の調査等

ア 県環境保健研究センターで実施した検査の結果、有症者 1 名からノロウイルス、有症者 3 名からサポウイルスを検出。

イ 一関保健所が実施した疫学調査から、施設の食事を原因とする食中毒の可能性は否定。

ウ 一関保健所は、当該施設に対し手洗い消毒等の二次感染対策について指導。

### 2 感染性胃腸炎の集団発生の状況 (盛岡市分を含む、( )内は年度累計、単位：件)

区 分	ノロ ウイルス	ロタ ウイルス	その他 (サポウイルス等)	合計
平成 29 年 4 月 1 日～ 平成 29 年 7 月 13 日	14	5	8	27
平成 28 年 4 月 1 日～ 平成 28 年 7 月 13 日	16 (69)	4 (5)	4 (10)	24 (84)
平成 27 年 4 月 1 日～ 平成 27 年 7 月 13 日	10 (46)	0 (0)	3 (10)	13 (56)

### 3 ウイルス性胃腸炎の予防方法

- ① 用便後、調理前、食事前には、石けんで十分な手洗いを行う。
- ② 食事を調理する場合、加熱が必要な食品は 85℃以上・1 分間以上で十分に加熱する。
- ③ 嘔吐した場合は、部屋の換気を十分に行ないながら、なるべくマスクやビニール手袋等を用いて片付け、嘔吐した場所や使用した用具を塩素系漂白剤で消毒する。
- ④ 嘔吐、下痢等の症状がある場合には、早めに医療機関を受診する。

## 感染性胃腸炎の集団発生について

次のとおり、ノロウイルスによる「感染性胃腸炎」の集団発生がありましたので、県民への注意喚起のためお知らせします。

### 1 北上市内の保育所

#### (1) 施設の概要

園児 110 名、職員 25 名

#### (2) 有症者の状況等

ア 7 月 21 日（金）、当該施設から中部保健所へ、複数名名の園児が嘔吐・下痢の症状を呈している旨の連絡あり。

イ 同日から、中部保健所が調査を開始し、7 月 14 日（金）から 7 月 23 日（日）にかけて、園児 23 名に嘔吐・下痢等の発症があったことを確認。

ウ 有症者は回復傾向にあり、重症者はなし。

#### 【有症者の性別・年齢別構成】

(単位：人)

区分	園児						計
	1 歳児	2 歳児	3 歳児	4 歳児	5 歳児	6 歳児	
男	1	2	5	6	3	0	17
女	0	1	1	2	1	1	6
計	1	3	6	8	4	1	23

( )内は入院者再掲

#### (3) 原因究明の調査等

ア 医療機関で実施した検査の結果、有症者 3 名からノロウイルスを検出。

イ 中部保健所が実施した疫学調査から、施設の食事を原因とする食中毒の可能性は否定。

ウ 中部保健所は、当該施設に対し手洗い消毒等の二次感染対策について指導。

### 2 感染性胃腸炎の集団発生の状況 (盛岡市分を含む、( )内は年度累計、単位：件)

区分	ノロウイルス	ロタウイルス	その他 (サボウイルス等)	合計
平成 29 年 4 月 1 日～ 平成 29 年 7 月 25 日	15	5	8	28
平成 28 年 4 月 1 日～ 平成 28 年 7 月 25 日	16 (69)	4 (5)	4 (10)	24 (84)
平成 27 年 4 月 1 日～ 平成 27 年 7 月 25 日	11 (46)	0 (0)	3 (10)	14 (56)

### 3 ウイルス性胃腸炎の予防方法

用便後、調理前、食事前には、石けんで十分な手洗いを行う。

食事を調理する場合、加熱が必要な食品は 85 以上・1 分間以上で十分に加熱する。

嘔吐した場合は、部屋の換気を十分に行ないながら、なるべくマスクやビニール手袋等を用いて片付け、嘔吐した場所や使用した用具を塩素系漂白剤で消毒する。

嘔吐、下痢等の症状がある場合には、早めに医療機関を受診する。

## 感染性胃腸炎の集団発生について

次のとおり、ノロウイルスによる「感染性胃腸炎」の集団発生がありましたので、県民への注意喚起のためお知らせします。

### 1 陸前高田市内の保育所

#### (1) 施設の概要

園児 104 名、職員 28 名

#### (2) 有症者の状況等

ア 7 月 27 日 (木)、当該施設から大船渡保健所へ、複数名の園児が嘔吐・下痢の症状を呈している旨の連絡あり。

イ 同日から、大船渡保健所が調査を開始し、7 月 17 日 (月) から 7 月 29 日 (土) にかけて、園児 18 名に嘔吐・下痢等の発症があったことを確認。

ウ 有症者は回復傾向にあり、重症者はなし。入院した 1 名については、すでに回復し退院している。

【有症者の性別・年齢別構成】

(単位：人)

区分	園児						計
	0 歳児	1 歳児	2 歳児	3 歳児	4 歳児	5 歳児	
男	4	3 (1)	3	1	1	0	12
女	3	1	0	0	0	2	6
計	7	4	3	1	1	2	18

※ ( ) 内は入院者再掲

#### (3) 原因究明の調査等

ア 県環境保健研究センターで実施した検査の結果、有症者 5 名からノロウイルスを検出。

イ 大船渡保健所が実施した疫学調査から、施設の食事を原因とする食中毒の可能性は否定。

ウ 大船渡保健所は、当該施設に対し手洗い消毒等の二次感染対策について指導。

### 2 感染性胃腸炎の集団発生の状況

(盛岡市分を含む、( )内は年度累計、単位：件)

区 分	ノロ ウイルス	ロタ ウイルス	その他 (サボウイルス等)	合計
平成 29 年 4 月 1 日～ 平成 29 年 7 月 31 日	16	5	8	29
平成 28 年 4 月 1 日～ 平成 28 年 7 月 31 日	16 (69)	4 (5)	4 (10)	24 (84)
平成 27 年 4 月 1 日～ 平成 27 年 7 月 31 日	11 (46)	0 (0)	3 (10)	14 (56)

### 3 ウイルス性胃腸炎の予防方法

- ① 用便後、調理前、食事前には、石けんで十分な手洗いを行う。
- ② 食事を調理する場合、加熱が必要な食品は 85℃以上・1 分間以上で十分に加熱する。
- ③ 嘔吐した場合は、部屋の換気を十分に行ないながら、なるべくマスクやビニール手袋等を用いて片付け、嘔吐した場所や使用した用具を塩素系漂白剤で消毒する。
- ④ 嘔吐、下痢等の症状がある場合には、早めに医療機関を受診する。

## 感染性胃腸炎の集団発生について

次のとおり、ノロウイルスによる「感染性胃腸炎」の集団発生がありましたので、県民への注意喚起のためお知らせします。

### 1 八幡平市内の保育所

#### (1) 施設の概要

園児 93 名、職員 20 名

#### (2) 有症者の状況等

ア 7 月 31 日 (月)、当該施設から県央保健所へ、複数名の園児が嘔吐・下痢等の症状を呈している旨の連絡あり。

イ 同日から、県央保健所が調査を開始し、7 月 22 日 (土) から 8 月 1 日 (火) にかけて、園児 17 名に嘔吐・下痢等の発症があったことを確認。

ウ 有症者は回復傾向にあり、重症者はなし。

【有症者の性別・年齢別構成】

(単位：人)

区分	園児						計
	0 歳児	1 歳児	2 歳児	3 歳児	4 歳児	5 歳児	
男	4	4	0	2	1	0	11
女	1	5	0	0	0	0	6
計	5	9	0	2	1	0	17

※ ( ) 内は入院者再掲

#### (3) 原因究明の調査等

ア 県環境保健研究センターで実施した検査の結果、有症者等 4 名からノロウイルスを検出。

イ 県央保健所が実施した疫学調査から、施設の食事を原因とする食中毒の可能性は否定。

ウ 県央保健所は、当該施設に対し手洗い消毒等の二次感染対策について指導。

### 2 感染性胃腸炎の集団発生の状況

(盛岡市分を含む、( )内は年度累計、単位：件)

区 分	ノロ ウイルス	ロタ ウイルス	その他 (サポウイルス等)	合計
平成 29 年 4 月 1 日～ 平成 29 年 8 月 3 日	17	5	8	30
平成 28 年 4 月 1 日～ 平成 28 年 8 月 3 日	16 (69)	4 (5)	4 (10)	24 (84)
平成 27 年 4 月 1 日～ 平成 27 年 8 月 3 日	11 (46)	0 (0)	3 (10)	14 (56)

### 3 ウイルス性胃腸炎の予防方法

- ① 用便後、調理前、食事前には、石けんで十分な手洗いを行う。
- ② 食事を調理する場合、加熱が必要な食品は 85℃以上・1 分間以上で十分に加熱する。
- ③ 嘔吐した場合は、部屋の換気を十分に行ないながら、なるべくマスクやビニール手袋等を用いて片付け、嘔吐した場所や使用した用具を塩素系漂白剤で消毒する。
- ④ 嘔吐、下痢等の症状がある場合には、早めに医療機関を受診する。

## 感染性胃腸炎の集団発生について

次のとおり、ノロウイルスによる「感染性胃腸炎」の集団発生がありましたので、県民への注意喚起のためお知らせします。

### 1 奥州市内の認定こども園

#### (1) 施設の概要

園児 102 名、職員 35 名

#### (2) 有症者の状況等

ア 10 月 26 日（木）、当該施設から奥州保健所へ、1 名の園児が嘔吐の症状を呈し、医療機関を受診しノロウイルスの診断を受けた旨の連絡あり。

イ 同日から、奥州保健所が調査を開始し、10 月 20 日（金）から 10 月 30 日（月）にかけて、園児 13 名、職員 1 名に嘔吐・下痢等の発症があったことを確認。

ウ 有症者は回復傾向にあり、重症者はなし。

【有症者の性別・年齢別構成】

(単位：人)

区分	園児（クラス別）						職員 20 歳代	計
	0 歳児	1 歳児	2 歳児	3 歳児	4 歳児	5 歳児		
男	0	5	2	0	0	0	0	7
女	3	3	0	0	0	0	1	7
計	3	8	2	0	0	0	1	14

#### (3) 原因究明の調査等

ア 奥州保健所が実施した糞便検査の結果（検査機関：県環境保健研究センター）、有症者 6 名からノロウイルスを検出。

イ 奥州保健所が実施した疫学調査から、施設の食事を原因とする食中毒の可能性は否定。

ウ 奥州保健所は、当該施設に対し手洗い消毒等の二次感染対策について指導。

### 2 感染性胃腸炎の集団発生の状況（盛岡市分を含む、（ ）内は年度累計、単位：件）

区 分	ノロ ウイルス	ロタ ウイルス	その他 (サポウイルス等)	合計
平成 29 年 4 月 1 日～ 平成 29 年 10 月 31 日	18	5	9	32
平成 28 年 4 月 1 日～ 平成 28 年 10 月 31 日	17 (69)	4 (5)	4 (10)	25 (84)
平成 27 年 4 月 1 日～ 平成 27 年 10 月 31 日	11 (46)	0 (0)	5 (10)	16 (56)

### 3 ウイルス性胃腸炎の予防方法

- ① 用便後、調理前、食事前には、石けんで十分な手洗いを行う。
- ② 食事を調理する場合、加熱が必要な食品は 85℃以上・1 分間以上で十分に加熱する。
- ③ 嘔吐した場合は、部屋の換気を十分に行ないながら、なるべくマスクやビニール手袋等を用いて片付け、嘔吐した場所や使用した用具を塩素系漂白剤で消毒する。
- ④ 嘔吐、下痢等の症状がある場合には、早めに医療機関を受診する。



## 感染性胃腸炎の集団発生について

次のとおり、サポウイルスによる「感染性胃腸炎」の集団発生がありましたので、県民への注意喚起のためお知らせします。

### 1 一関市内の保育所

#### (1) 施設の概要

園児 39 名、職員 14 名

#### (2) 有症者の状況等

ア 10 月 27 日（金）、当該施設から一関保健所へ、複数名の園児が嘔吐等の症状を呈している旨の連絡あり。

イ 同日から、一関保健所が調査を開始し、10 月 22 日（日）から 10 月 31 日（火）にかけて、園児 18 名に嘔吐・下痢等の発症があったことを確認。

ウ 有症者は回復傾向にあり、重症者はなし。

【有症者の性別・年齢別構成】

(単位：人)

区分	園児（クラス別）						計
	0 歳児	1 歳児	2 歳児	3 歳児	4 歳児	5 歳児	
男	0	0	2	3	7	2	14
女	0	0	0	2	2	0	4
計	0	0	2	5	9	2	18

#### (3) 原因究明の調査等

ア 県環境保健研究センターで実施した検査の結果、有症者 10 名からサポウイルスを検出。

イ 一関保健所が実施した疫学調査から、施設の食事を原因とする食中毒の可能性は否定。

ウ 一関保健所は、当該施設に対し手洗い消毒等の二次感染対策について指導。

### 2 感染性胃腸炎の集団発生の状況

(盛岡市分を含む、( )内は年度累計、単位：件)

区 分	ノロウイルス	ロタウイルス	その他 (サポウイルス等)	合計
平成 29 年 4 月 1 日～ 平成 29 年 11 月 1 日	18	5	10	33
平成 28 年 4 月 1 日～ 平成 28 年 11 月 1 日	17 (69)	4 (5)	4 (10)	25 (84)
平成 27 年 4 月 1 日～ 平成 27 年 11 月 1 日	11 (46)	0 (0)	5 (10)	16 (56)

### 3 ウイルス性胃腸炎の予防方法

- ① 用便後、調理前、食事前には、石けんで十分な手洗いを行う。
- ② 食事を調理する場合、加熱が必要な食品は 85℃以上・1 分間以上で十分に加熱する。
- ③ 嘔吐した場合は、部屋の換気を十分に行ないながら、なるべくマスクやビニール手袋等を用いて片付け、嘔吐した場所や使用した用具を塩素系漂白剤で消毒する。
- ④ 嘔吐、下痢等の症状がある場合には、早めに医療機関を受診する。

## 感染性胃腸炎の集団発生について

次のとおり、サポウイルスによる「感染性胃腸炎」の集団発生がありましたので、県民への注意喚起のためお知らせします。

### 1 陸前高田市内の保育所

#### (1) 施設の概要

園児 38 名、職員 13 名

#### (2) 有症者の状況等

ア 12 月 4 日（月）、陸前高田市から大船渡保健所へ、複数名の園児が嘔吐等の症状を呈している旨の連絡あり。

イ 同日より、大船渡保健所が調査を開始し、12 月 1 日（金）から 12 月 8 日（金）にかけて、園児 12 名に嘔吐・下痢等の発症があったことを確認。

ウ 有症者は回復傾向にあり、重症者はなし。

#### 【有症者の性別・年齢別構成】

(単位：人)

区分	園児（クラス別）						計
	0 歳児	1 歳児	2 歳児	3 歳児	4 歳児	5 歳児	
男	0	0	3	0	1	2	6
女	0	1	2	1	1	1	6
計	0	1	5	1	2	3	12

#### (3) 原因究明の調査等

ア 県環境保健研究センターで実施した検査の結果、有症者 3 名からサポウイルスを検出。

イ 大船渡保健所が実施した疫学調査から、施設の食事を原因とする食中毒の可能性は否定。

ウ 大船渡保健所は、当該施設に対し消毒方法等の二次感染対策について指導。

### 2 感染性胃腸炎の集団発生の状況

(盛岡市分を含む、( )内は年度累計、単位：件)

区 分	ノロウイルス	ロタウイルス	その他 (サポウイルス等)	合計
平成 29 年 4 月 1 日～ 平成 29 年 12 月 8 日	18	5	11	34
平成 28 年 4 月 1 日～ 平成 28 年 12 月 8 日	25 (69)	4 (5)	5 (10)	34 (84)
平成 27 年 4 月 1 日～ 平成 27 年 12 月 8 日	18 (46)	0 (0)	6 (10)	24 (56)

### 3 ウイルス性胃腸炎の予防方法

- ① 用便後、調理前、食事前には、石けんで十分な手洗いを行う。
- ② 食事を調理する場合、加熱が必要な食品は 85℃以上・1 分間以上で十分に加熱する。
- ③ 嘔吐した場合は、部屋の換気を十分に行ないながら、なるべくマスクやビニール手袋等を用いて片付け、嘔吐した場所や使用した用具を塩素系漂白剤で消毒する。
- ④ 嘔吐、下痢等の症状がある場合には、早めに医療機関を受診する。

## 感染性胃腸炎の集団発生について

次のとおり、サポウイルスによる「感染性胃腸炎」の集団発生がありましたので、県民への注意喚起のためお知らせします。

### 1 八幡平市内の保育所

#### (1) 施設の概要

園児 97名、職員 21名

#### (2) 有症者の状況等

ア 12月12日(火)、当該施設から県央保健所へ、複数名の園児が嘔吐等の症状を呈している旨の連絡あり。

イ 県央保健所が調査を開始し、12月10日(日)から12月14日(木)にかけて、園児15名に嘔吐・下痢等の発症があったことを確認。

ウ 有症者は回復傾向にあり、重症者はなし。

#### 【有症者の性別・年齢別構成】

(単位：人)

区分	園児 (クラス別)						計
	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	
男	1	4	1	0	1	0	7
女	0	5	3	0	0	0	8
計	1	9	4	0	1	0	15

#### (3) 原因究明の調査等

ア 県環境保健研究センターで実施した検査の結果、有症者3名からサポウイルスを検出。

イ 県央保健所が実施した疫学調査から、施設の食事を原因とする食中毒の可能性は否定。

ウ 県央保健所は、当該施設に対し消毒方法等の二次感染対策について指導。

### 2 感染性胃腸炎の集団発生の状況

(盛岡市分を含む、( )内は年度累計、単位：件)

区 分	ノロウイルス	ロタウイルス	その他 (サポウイルス等)	合計
平成29年4月1日～ 平成29年12月18日	18	5	12	35
平成28年4月1日～ 平成28年12月18日	30 (69)	4 (5)	7 (10)	41 (84)
平成27年4月1日～ 平成27年12月18日	24 (46)	0 (0)	7 (10)	31 (56)

### 3 ウイルス性胃腸炎の予防方法

- ① 用便後、調理前、食事前には、石けんで十分な手洗いを行う。
- ② 食事を調理する場合、加熱が必要な食品は85℃以上・1分間以上で十分に加熱する。
- ③ 嘔吐した場合は、部屋の換気を十分に行ないながら、なるべくマスクやビニール手袋等を用いて片付け、嘔吐した場所や使用した用具を塩素系漂白剤で消毒する。
- ④ 嘔吐、下痢等の症状がある場合には、早めに医療機関を受診する。

## 感染性胃腸炎の集団発生について

次のとおり、ノロウイルスによる「感染性胃腸炎」の集団発生がありましたので、県民への注意喚起のためお知らせします。

### 1 久慈市内の保育所

#### (1) 施設の概要

園児 121 名、職員 30 名

#### (2) 有症者の状況等

ア 1 月 11 日 (木)、当該施設から久慈保健所へ、複数名の園児が嘔吐等の症状を呈している旨の連絡あり。

イ 同日より、久慈保健所が調査を開始し、1 月 9 日 (火) から 1 月 13 日 (土) にかけて、園児 20 名に嘔吐・下痢等の発症があったことを確認。

ウ 有症者は回復傾向にあり、重症者はなし。

【有症者の性別・年齢別構成】

(単位：人)

区分	園児 (クラス別)						計
	0 歳児	1 歳児	2 歳児	3 歳児	4 歳児	5 歳児	
男	5	1	3	0	3	0	12
女	5	0	2	0	1	0	8
計	10	1	5	0	4	0	20

#### (3) 原因究明の調査等

ア 医療機関で実施した検査の結果、有症者 6 名からノロウイルスを検出。

イ 久慈保健所が実施した疫学調査から、施設の食事を原因とする食中毒の可能性は否定。

ウ 久慈保健所は、当該施設に対し消毒方法等の二次感染対策について指導。

### 2 感染性胃腸炎の集団発生の状況 (盛岡市分を含む、( )内は年度累計、単位：件)

区 分	ノロ ウイルス	ロタ ウイルス	その他 (サボウイルス等)	合計
平成 29 年 4 月 1 日～ 平成 30 年 1 月 15 日	19	5	12	36
平成 28 年 4 月 1 日～ 平成 29 年 1 月 15 日	50 (69)	4 (5)	9 (10)	63 (84)
平成 27 年 4 月 1 日～ 平成 28 年 1 月 15 日	28 (46)	0 (0)	9 (10)	37 (56)

### 3 ウイルス性胃腸炎の予防方法

- ① 用便後、調理前、食事前には、石けんで十分な手洗いを行う。
- ② 食事を調理する場合、加熱が必要な食品は 85℃以上・1 分間以上で十分に加熱する。
- ③ 嘔吐した場合は、部屋の換気を十分に行ないながら、なるべくマスクやビニール手袋等を用いて片付け、嘔吐した場所や使用した用具を塩素系漂白剤で消毒する。
- ④ 嘔吐、下痢等の症状がある場合には、早めに医療機関を受診する。

## 感染性胃腸炎の集団発生について

次のとおり、ノロウイルスによる「感染性胃腸炎」の集団発生がありましたので、県民への注意喚起のためお知らせします。

### 1 久慈市内の老人福祉施設

#### (1) 施設の概要

入所者 60 名、職員 46 名

#### (2) 有症者の状況等

ア 1 月 17 日 (水)、当該施設から久慈保健所へ、複数名の入所者及び職員が嘔吐・下痢等の症状を呈している旨の連絡あり。

イ 同日より、久慈保健所が調査を開始し、1 月 16 日 (火) から 1 月 19 日 (金) にかけて、入所者 13 名、職員 10 名に嘔吐・下痢等の発症があったことを確認。

ウ 有症者は回復傾向にあり、重症者はなし。

#### 【有症者の性別・年齢別構成】

(単位：人)

区分	入所者		職員				計
	80 歳代	90 歳代	20 歳代	30 歳代	40 歳代	50 歳代	
男	3	4	1	0	0	0	8
女	5	1	0	1	1	7	15
計	8	5	1	1	1	7	23

#### (3) 原因究明の調査等

ア 医療機関で実施した検査の結果、有症者 4 名からノロウイルスを検出。

イ 久慈保健所が実施した疫学調査から、施設の食事を原因とする食中毒の可能性は否定。

ウ 久慈保健所は、当該施設に対し消毒方法等の二次感染対策について指導。

### 2 感染性胃腸炎の集団発生の状況 (盛岡市分を含む、( )内は年度累計、単位：件)

区 分	ノロウイルス	ロタウイルス	その他 (サポウイルス等)	合計
平成 29 年 4 月 1 日～ 平成 30 年 1 月 19 日	21	5	12	38
平成 28 年 4 月 1 日～ 平成 29 年 1 月 19 日	53 (69)	4 (5)	9 (10)	66 (84)
平成 27 年 4 月 1 日～ 平成 28 年 1 月 19 日	30 (46)	0 (0)	9 (10)	39 (56)

### 3 ウイルス性胃腸炎の予防方法

- ① 用便後、調理前、食事前には、石けんで十分な手洗いを行う。
- ② 食事を調理する場合、加熱が必要な食品は 85℃以上・1 分間以上で十分に加熱する。
- ③ 嘔吐した場合は、部屋の換気を十分に行ないながら、なるべくマスクやビニール手袋等を用いて片付け、嘔吐した場所や使用した用具を塩素系漂白剤で消毒する。
- ④ 嘔吐、下痢等の症状がある場合には、早めに医療機関を受診する。

## 感染性胃腸炎の集団発生について

次のとおり、ノロウイルスによる「感染性胃腸炎」の集団発生がありましたので、県民への注意喚起のためお知らせします。

### 1 矢巾町内の保育所

#### (1) 施設の概要

園児 140名、職員 31名

#### (2) 有症者の状況等

ア 2月1日(木)、当該施設から県央保健所へ、複数名の園児が嘔吐・下痢等の症状を呈している旨の連絡あり。

イ 県央保健所が調査を開始し、1月29日(月)から2月2日(金)にかけて、園児12名に嘔吐・下痢等の発症があったことを確認。

ウ 有症者は回復傾向にあり、重症者はなし。

#### 【有症者の性別・年齢別構成】

(単位：人)

区分	園児(クラス別)						計
	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	
男	2	1	1	1	0	0	5
女	5	0	0	0	0	2	7
計	7	1	1	1	0	2	12

#### (3) 原因究明の調査等

ア 県環境保健研究センターで実施した検査の結果、有症者等5名からノロウイルスを検出。

イ 県央保健所が実施した疫学調査から、施設の食事を原因とする食中毒の可能性は否定。

ウ 県央保健所は、当該施設に対し消毒方法等の二次感染対策について指導。

### 2 感染性胃腸炎の集団発生の状況

(盛岡市分を含む、( )内は年度累計、単位：件)

区分	ノロウイルス	ロタウイルス	その他 (サポウイルス等)	合計
平成29年4月1日～ 平成30年2月5日	22	5	12	39
平成28年4月1日～ 平成29年2月5日	59 (69)	4 (5)	9 (10)	72 (84)
平成27年4月1日～ 平成28年2月5日	37 (46)	0 (0)	9 (10)	46 (56)

### 3 ウイルス性胃腸炎の予防方法

- ① 用便後、調理前、食事前には、石けんで十分な手洗いを行う。
- ② 食事を調理する場合、加熱が必要な食品は85℃以上・1分間以上で十分に加熱する。
- ③ 嘔吐した場合は、部屋の換気を十分に行ないながら、なるべくマスクやビニール手袋等を用いて片付け、嘔吐した場所や使用した用具を塩素系漂白剤で消毒する。
- ④ 嘔吐、下痢等の症状がある場合には、早めに医療機関を受診する。

## 感染性胃腸炎の集団発生について

次のとおり、ノロウイルスによる「感染性胃腸炎」の集団発生がありましたので、県民への注意喚起のためお知らせします。

### 1 遠野市内の保育所

#### (1) 施設の概要

園児 83 名、職員 22 名

#### (2) 有症者の状況等

ア 2月2日(金)、当該施設から中部保健所へ、複数名の園児が嘔吐・下痢の症状を呈している旨の連絡あり。

イ 中部保健所が調査を開始し、2月1日(木)から2月7日(水)にかけて、園児17名、職員5名に嘔吐・下痢等の発症があったことを確認。

ウ 有症者は回復傾向にあり、重症者はなし。

【有症者の性別・年齢別構成】

(単位：人)

区分	園児 (クラス別)						職員			計
	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	20歳代	30歳代	60歳代	
男	3	1	2	0	2	0	0	0	0	8
女	3	0	3	2	0	1	1	3	1	14
計	6	1	5	2	2	1	1	3	1	22

#### (3) 原因究明の調査等

ア 県環境保健研究センターで実施した検査の結果、有症者6名からノロウイルスを検出。

イ 中部保健所が実施した疫学調査から、施設の食事を原因とする食中毒の可能性は否定。

ウ 中部保健所は、当該施設に対し消毒方法等の二次感染対策について指導。

### 2 感染性胃腸炎の集団発生の状況

(盛岡市分を含む、( )内は年度累計、単位：件)

区 分	ノロウイルス	ロタウイルス	その他 (サポウイルス等)	合計
平成 29 年 4 月 1 日～ 平成 30 年 2 月 13 日	23	5	12	40
平成 28 年 4 月 1 日～ 平成 29 年 2 月 13 日	61 (69)	4 (5)	9 (10)	74 (84)
平成 27 年 4 月 1 日～ 平成 28 年 2 月 13 日	38 (46)	0 (0)	10 (10)	48 (56)

### 3 ウイルス性胃腸炎の予防方法

- ① 用便後、調理前、食事前には、石けんで十分な手洗いを行う。
- ② 食事を調理する場合、加熱が必要な食品は85℃以上・1分間以上で十分に加熱する。
- ③ 嘔吐した場合は、部屋の換気を十分に行ないながら、なるべくマスクやビニール手袋等を用いて片付け、嘔吐した場所や使用した用具を塩素系漂白剤で消毒する。
- ④ 嘔吐、下痢等の症状がある場合には、早めに医療機関を受診する。

## 感染性胃腸炎の集団発生について

次のとおり、ノロウイルスによる「感染性胃腸炎」の集団発生がありましたので、県民への注意喚起のためお知らせします。

### 1 大船渡市内の保育所

#### (1) 施設の概要

園児 133 名、職員 33 名

#### (2) 有症者の状況等

ア 2月19日(月)、当該施設から大船渡保健所へ、複数名の園児が嘔吐・下痢の症状を呈している旨の連絡あり。

イ 大船渡保健所が調査を開始し、2月1日(木)から2月20日(火)にかけて、園児17名、職員4名に嘔吐・下痢等の発症があったことを確認。

ウ 2歳男児1名が入院したが既に退院し、有症者は回復傾向にあり、重症者はなし。

【有症者の性別・年齢別構成】

(単位：人)

区分	園児 (クラス別)						職員				計
	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	
男	2	3	2 (1)	2	0	0	0	0	0	0	9
女	4	2	0	1	0	1	1	1	1	1	12
計	6	5	2 (1)	3	0	1	1	1	1	1	21

( ) 内は入院患者再掲 (既に退院済)

#### (3) 原因究明の調査等

ア 県環境保健研究センターで実施した検査の結果、有症者5名からノロウイルスを検出。

イ 大船渡保健所が実施した疫学調査から、施設の食事を原因とする食中毒の可能性は否定。

ウ 大船渡保健所は、当該施設に対し消毒方法等の二次感染対策について指導。

### 2 感染性胃腸炎の集団発生の状況 (盛岡市分を含む、( )内は年度累計、単位：件)

区 分	ノロ ウイルス	ロタ ウイルス	その他 (サポウイルス等)	合計
平成 29 年 4 月 1 日～ 平成 30 年 2 月 23 日	25	5	12	42
平成 28 年 4 月 1 日～ 平成 29 年 2 月 23 日	68 (69)	4 (5)	9 (10)	81 (84)
平成 27 年 4 月 1 日～ 平成 28 年 2 月 23 日	41 (46)	0 (0)	8 (10)	49 (56)

### 3 ウイルス性胃腸炎の予防方法

- ① 用便後、調理前、食事前には、石けんで十分な手洗いを行う。
- ② 食事を調理する場合、加熱が必要な食品は85℃以上・1分間以上で十分に加熱する。
- ③ 嘔吐した場合は、部屋の換気を十分に行ないながら、なるべくマスクやビニール手袋等を用いて片付け、嘔吐した場所や使用した用具を塩素系漂白剤で消毒する。
- ④ 嘔吐、下痢等の症状がある場合には、早めに医療機関を受診する。



## 感染性胃腸炎の集団発生について

このことについて、次のとおり、ノロウイルスによる「感染性胃腸炎」の集団発生がありましたので、県民への注意喚起のためお知らせします。

記

### 1 施設の概要について（奥州市内の認定こども園）

園児 183 名、職員 29 名

ア 2月17日（土）に、当該施設から奥州保健所へ、複数名の園児等が嘔吐・下痢等の症状を呈し、そのうち2名の園児が医療機関を受診しノロウイルスと診断された旨の連絡あり。

イ 同日から、奥州保健所が調査を開始し、2月12日（月）から2月21日（水）にかけて、園児34名、職員3名に嘔吐・下痢等の症状があったことを確認。

ウ 有症者は回復し、重症者はなかった。

【有症者の性別・年齢別構成】

（単位：人）

区分	園児（クラス別）				職員		計
	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	30歳代	50歳代	
男	0	16	0	5	1	0	22
女	0	7	4	2	0	2	15
計	0	23	4	7	1	2	37

### 2 調査結果について

ア 奥州保健所が実施した糞便検査の結果（検査機関：県環境保健研究センター）、有症者 10 名からノロウイルスを検出。

イ 奥州保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。

ウ 奥州保健所は、当該施設に対し消毒方法等の二次感染対策について指導。

### 【県内の発生の状況】

（盛岡市分を含む、（ ）内は年度累計、単位：件）

区分	ノロウイルス	ロタウイルス	その他 (サポウイルス等)	合計
平成 29 年 4 月 1 日～ 平成 30 年 2 月 27 日	26	5	12	43
平成 28 年 4 月 1 日～ 平成 29 年 2 月 27 日	66 (69)	4 (5)	10 (10)	80 (84)
平成 27 年 4 月 1 日～ 平成 28 年 2 月 27 日	44 (46)	0 (0)	10 (10)	54 (56)

### ・ウイルス性胃腸炎の予防方法

- ① 用便後、調理前、食事前には、石けんで十分な手洗いを行う。
- ② 食事を調理する場合、加熱が必要な食品は 85℃以上・1 分間以上で十分に加熱する。
- ③ 嘔吐した場合は、部屋の換気を十分に行ないながら、なるべくマスクやビニール手袋等を用いて片付け、嘔吐した場所や使用した用具を塩素系漂白剤で消毒する。
- ④ 嘔吐、下痢等の症状がある場合には、早めに医療機関を受診する。

【担当 感染症担当 小野・東 内 5472】

## 感染性胃腸炎の集団発生について

このことについて、次のとおり、ノロウイルスによる「感染性胃腸炎」の集団発生がありましたので、県民への注意喚起のためお知らせします。

記

### 1 施設の概要について（釜石市内の保育所）

園児80名、職員24名

ア 3月5日（月）に、当該施設から釜石保健所へ、複数名の園児が嘔吐・下痢等の症状を呈している旨の連絡あり。

イ 釜石保健所が調査を開始し、2月20日（火）から3月6日（火）にかけて、園児25名、職員2名に嘔吐・下痢等の症状があったことを確認。

ウ 入院患者2名含め、有症者は回復傾向にあり、重症者はなし。

【有症者の性別・年齢別構成】

（単位：人）

区分	園児（クラス別）						職員		計
	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	30歳代	60歳代	
男	5	1	3	2	1	2	0	0	14
女	3	2	1 (1)	3 (1)	2	0	1	1	13 (2)
計	8	3	4 (1)	5 (1)	3	2	1	1	27 (2)

（ ）内は入院患者再掲

### 2 調査結果について

ア 県環境保健研究センターが実施した糞便検査の結果、有症者4名からノロウイルスを検出。

イ 釜石保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。

ウ 釜石保健所は、当該施設に対し消毒方法等の二次感染対策について指導。

【県内の発生の状況】

（盛岡市分を含む、（ ）内は年度累計、単位：件）

区分	ノロウイルス	ロタウイルス	その他 (サポウイルス等)	合計
平成29年4月1日～ 平成30年3月8日	27	5	12	44
平成28年4月1日～ 平成29年3月8日	66 (69)	4 (5)	10 (10)	80 (84)
平成27年4月1日～ 平成28年3月8日	44 (46)	0 (0)	10 (10)	54 (56)

### ・ウイルス性胃腸炎の予防方法

- ① 用便後、調理前、食事前には、石けんで十分な手洗いを行う。
- ② 食事を調理する場合、加熱が必要な食品は85℃以上・1分間以上で十分に加熱する。
- ③ 嘔吐した場合は、部屋の換気を十分に行ないながら、なるべくマスクやビニール手袋等を用いて片付け、嘔吐した場所や使用した用具を塩素系漂白剤で消毒する。
- ④ 嘔吐、下痢等の症状がある場合には、早めに医療機関を受診する。

## 感染性胃腸炎の集団発生について

このことについて、次のとおり、ノロウイルスによる「感染性胃腸炎」の集団発生がありましたので、県民への注意喚起のためお知らせします。

### 記

#### 1 施設の概要について（一戸町の保育所）

園児 84 名、職員 16 名

ア 3月15日（木）に、当該施設から二戸保健所へ、複数名の園児等が嘔吐・下痢等の症状を呈している旨の連絡あり。

イ 同日から、二戸保健所が調査を開始し、3月7日（水）から3月15日（木）にかけて、園児10名、職員1名に嘔吐・下痢等の症状があったことを確認。

ウ 有症者は回復傾向にあり、重症者はなし。

【有症者の性別・年齢別構成】

（単位：人）

区分	園児（クラス別）						職員	計
	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	40歳代	
男	1	0	0	2	0	0	0	3
女	4	2	0	1	0	0	1	8
計	5	2	0	3	0	0	1	11

#### 2 調査結果について

ア 医療機関が実施した糞便検査の結果、有症者3名からノロウイルスを検出。

イ 二戸保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。

ウ 二戸保健所は、当該施設に対し消毒方法等の二次感染対策について指導。

#### 【県内の発生の状況】

（盛岡市分を含む、（ ）内は年度累計、単位：件）

区 分	ノロ ウイルス	ロタ ウイルス	その他 (サポウイルス等)	合計
平成 29 年 4 月 1 日～ 平成 30 年 3 月 16 日	29	5	12	46
平成 28 年 4 月 1 日～ 平成 29 年 3 月 16 日	69 (69)	4 (5)	10 (10)	83 (84)
平成 27 年 4 月 1 日～ 平成 28 年 3 月 16 日	45 (46)	0 (0)	10 (10)	55 (56)

#### ・ウイルス性胃腸炎の予防方法

- ① 用便後、調理前、食事前には、石けんで十分な手洗いを行う。
- ② 食事を調理する場合、加熱が必要な食品は 85℃以上・1 分間以上で十分に加熱する。
- ③ 嘔吐した場合は、部屋の換気を十分に行ないながら、なるべくマスクやビニール手袋等を用いて片付け、嘔吐した場所や使用した用具を塩素系漂白剤で消毒する。
- ④ 嘔吐、下痢等の症状がある場合には、早めに医療機関を受診する。

【担当 感染症担当 小野・東 内 5472】

## 感染性胃腸炎の集団発生について

このことについて、次のとおり、ノロウイルスによる「感染性胃腸炎」の集団発生がありましたので、県民への注意喚起のためお知らせします。

### 記

#### 1 施設の概要について（花巻市の幼稚園）

園児 234 名、職員 26 名

ア 3月15日（木）に、当該施設に通う園児の保護者から中部保健所へ、複数名の園児が嘔吐・下痢等の症状を呈している旨の連絡あり。

イ 中部保健所が調査を開始し、2月3日（土）から3月20日（火）にかけて、園児67名、職員3名に嘔吐・下痢等の症状があったことを確認。

ウ 有症者は回復傾向にあり、重症者はなし。

【有症者の性別・年齢別構成】

（単位：人）

区分	園児（クラス別）				職員		計
	満3歳児	3歳児	4歳児	5歳児	20歳代	40歳代	
男	3	8	8	15	0	0	34
女	3	8	8	14	2	1	36
計	6	16	16	29	2	1	70

#### 2 調査結果について

ア 県環境保健研究センターが実施した糞便検査の結果、有症者2名からノロウイルスを検出。

イ 中部保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。

ウ 中部保健所は、当該施設に対し消毒方法等の二次感染対策について指導。

#### 【県内の発生の状況】

（盛岡市分を含む、（ ）内は年度累計、単位：件）

区 分	ノロ ウイルス	ロタ ウイルス	その他 (サポウイルス等)	合計
平成 29 年 4 月 1 日～ 平成 30 年 3 月 22 日	30	5	12	47
平成 28 年 4 月 1 日～ 平成 29 年 3 月 22 日	69 (69)	4 (5)	10 (10)	83 (84)
平成 27 年 4 月 1 日～ 平成 28 年 3 月 22 日	46 (46)	0 (0)	10 (10)	56 (56)

#### ・ウイルス性胃腸炎の予防方法

- ① 用便後、調理前、食事前には、石けんで十分な手洗いを行う。
- ② 食事を調理する場合、加熱が必要な食品は 85℃以上・1 分間以上で十分に加熱する。
- ③ 嘔吐した場合は、部屋の換気を十分に行ないながら、なるべくマスクやビニール手袋等を用いて片付け、嘔吐した場所や使用した用具を塩素系漂白剤で消毒する。
- ④ 嘔吐、下痢等の症状がある場合には、早めに医療機関を受診する。

【担当 感染症担当 小野・東 内 5472】

## 感染性胃腸炎の集団発生について

このことについて、次のとおり、ノロウイルスによる「感染性胃腸炎」の集団発生がありましたので、県民への注意喚起のためお知らせします。

記

### 1 施設の概要について（山田町の保育所）

園児59名、職員14名

ア 3月26日（月）に、当該施設から宮古保健所へ、複数名の園児が嘔吐・下痢等の症状を呈している旨の連絡あり。

イ 同日から、宮古保健所が調査を開始し、3月23日（金）から3月26日（月）にかけて、園児11名に嘔吐・下痢等の症状があったことを確認。

ウ 有症者は回復傾向にあり、重症者はなし。

【有症者の性別・年齢別構成】

（単位：人）

区分	園児（クラス別）						職員	計
	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児		
男	4	2	1	0	0	0	0	7
女	0	1	1	1	1	0	0	4
計	4	3	2	1	1	0	0	11

### 2 調査結果について

ア 医療機関が実施した糞便検査の結果、有症者3名からノロウイルスを検出。

イ 宮古保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。

ウ 宮古保健所は、当該施設に対し消毒方法等の二次感染対策について指導。

### 【県内の発生の状況】

（盛岡市分を含む、（ ）内は年度累計、単位：件）

区分	ノロウイルス	ロタウイルス	その他 (サポウイルス等)	合計
平成29年4月1日～ 平成30年3月29日	31	5	12	48
平成28年4月1日～ 平成29年3月29日	69 (69)	5 (5)	10 (10)	84 (84)
平成27年4月1日～ 平成28年3月29日	46 (46)	0 (0)	10 (10)	56 (56)

### ・ウイルス性胃腸炎の予防方法

- ① 用便後、調理前、食事前には、石けんで十分な手洗いを行う。
- ② 食事を調理する場合、加熱が必要な食品は85℃以上・1分間以上で十分に加熱する。
- ③ 嘔吐した場合は、部屋の換気を十分に行ないながら、なるべくマスクやビニール手袋等を用いて片付け、嘔吐した場所や使用した用具を塩素系漂白剤で消毒する。
- ④ 嘔吐、下痢等の症状がある場合には、早めに医療機関を受診する。

【担当 感染症担当 小野・東 内5472】